

佐渡米通信 こめ〜る 5月号

☆28年産米の米づくり開始☆

島内では4月の初め頃に種蒔き作業が始まり、連休中に田植え作業をする姿が見られました。

28年産米の春作業の様子を紹介します。



種蒔き作業



種蒔き終了後、ビニールハウスに苗箱を運びます。水管理や温度管理を徹底し、苗が痛まないようにします。



田植えの様子



ビニールハウスに入れて20日から25日で青々とした立派な苗になります。



☆コープにいがた田植えツアーを開催☆

5月7日に、コープにいがた田植えツアーが行われ、コープにいがたの組合員家族と職員、佐渡Kids生きもの調査隊、佐渡市・JA佐渡役職員の約60名が参加をしました。



田植え体験を行っている様子

参加者は倒れそうになりながら15aの田んぼを40分かけて手植えました。また、近くの田んぼにある江（深み）で生きもの調査を行い、ドジョウやカエルなどの生きものが沢山見つかりました。

お昼には各自がカップの形になったのりの器「のりカップ」に佐渡のお米と好きな具材をのせて食べました。その後、放鳥されるトキが訓練をする施設「トキ野生復帰ステーション」とトキの飼育状況が観察できる施設「トキの森公園」を見学し、トキの生態や野生復帰に向けた取り組みについて勉強をしました。



田んぼにある江（深み）で生きもの調査を行っている様子



新穂舟下地区 鬼太鼓の演舞の様子



トキふれあいプラザにいるヒナの様子

☆トキ情報☆

野生下で生まれたトキ同士のペアからヒナが誕生しました。佐渡の上空を飛んでいるトキの数は約150羽になっています。



田植え直後に、トキが田んぼでエサを啄んでいる様子

JA 佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」で佐渡の情報が見られます。

<https://www.facebook.com/>

※QRコードについてはこちら⇒



編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 山田・野上
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成28年5月